



小堀 勇人 議員
Hayato Kobori



YouTube

11 都市公園の整備
お丸山全山プロジェクトについて

▶ 都市公園部分・平地林の遊歩道整備と合わせて山頂部分の施設を核とした周遊性を確保していく

Q 遊具の設置要望が、多く寄せられているが。

A 1日も早い設置に向け努力していく。

Q スカイツーの今後については。

A 借地は取得に向け慎重に検討していく。ライトアップについては11月20日の試験の結果、可能性が見出せたので、今後は電源の確保をはじめ検証を進めていきたい。



ライトアップ試験の様子

Q プロジェクトの今後の方向性は。

A 桜並木の再整備、荒川堤防の整備、道の駅きつれがわ、市街地等の活性化に向けた事業と連動性をもたせるプロジェクトとして位置づけていく。

11 都市公園の整備
さくら市誕生20周年記念行事について

Q 計画と内容は。

A 令和7年3月29日に盛大な記念式典を予定しており、今後市制20周年記念実行委員会を組織し市の歴史と文化の顕彰を含め長く将来に資するような事業内容を検討していく。



さくら市誕生

3 子育て支援
少子化対策充実への取り組みは

Q 新年度予算における市独自の子育て世代への支援の考えは。

A 「産後ケア」サービス利用料の全額免除のため事業費の計上を予定している。また「不妊治療助成対象者」の拡充を行う。さらに県内でも取り組み事例の少ない「第2子以降の保育料免除」について現在検討中である。



永井 孝叔 議員
Takayoshi Nagai



YouTube

3 子育て支援
小児救急医療について

▶ 第二次・第三次医療機関等の更なる充実、支援、設置等を求める

Q 小児救急医療の現状及び課題をどのように捉え、どのような施策を展開するのか。

A 直近の1年間では、塩谷広域管内で救急搬送の要請は130%増となっている。また、医療懇談会等で本市医師団の意見を伺い、地域医療体制を維持するよう、できる限りの施策を講ずる。さらに国や県と意見交換を通じ、第二次・第三次医療機関等の更なる充実や設置等を求める。

Q 公的病院等支援事業の目的と事業内容は。

A 救急医療の公的役割を担う病院に対し、助成金を交付している。事業内容は、救急医療体制の運営支援。

Q 小児科医に特化した支援計画が必要なのでは。

A 市独自の支援策を講じられるか医師団と意見交換、情報収集により支援できる体制を構築したい。



9 産業・経済振興
道路の舗装修繕について

Q ※道普請 道普請原材料費等支給要項を見直し、補助の拡充を図るべきでは。

A 現状に適合した見直しを行い、拡充を図るべく検討する。

Q 市道の補修計画の策定や補修効率化を図るため、※スマートフォンによる道路点検DXシステムを導入すべきでは。

A 導入に向け前向きに検討する。



Q 毎年道路補修修繕工事の必要予算は2億8,000万だが、財源確保の見込みは。

A 地方創生道整備推進交付金事業等、国の交付金事業を見込む。

※道普請
地域の方々が労力を提供し、身近な生活道路等の整備を行うこと。
※スマートフォンによる道路点検DX
スマートフォンで道路を撮影することで、路面のひび割れや段差などの損傷状態が点検できるシステム。点検後、スマートフォンからデータを送信してAIが解析することで、道路の点検・管理業務の効率化が期待できる。

その他の質問

◆ふるさと納税について



高瀬 一徳 議員
Kazunori Takase



YouTube

高齢者・障がい者単身世帯、
高齢者世帯、生活保護世帯、支援が
必要とされる世帯の見守りについて

▶ 地域共生社会の実現に最も重要な課題の一つである

Q 世帯数は。

A 一人暮らし高齢者は2,479世帯、高齢者のみの方は2,015世帯、生活保護230世帯、障害者手帳所持者は2,074人である。

Q 電気・ガス・水道の異常使用を知らせる端末機器を導入しては。

A 現在、緊急通報装置の利用者は100名を超えている。可能であれば、見守りシステムを付加出来ないか検討したい。

Q 防犯カメラの設置に補助金の創設をしては。

A 現在、市内には学校・保育園・公共施設・駅・幹線道路などに221台を設置している。自治会や行政区、商店会などを対象にした設置補助について研究を進めたい。



防犯カメラ



さくら市の文化財について

Q 指定される文化財の数は。

A 国指定1件、県指定47件、市指定167件の指定文化財がある。

Q 管理、保存、活用については。

A 個人所蔵者、管理団体とさくら市ミュージアムが連携し、補助をしながら修復や修理などを行っている。特に必要な場合は寄託や寄贈を受け入れ、収蔵・管理を行いながら企画展の展示資料や研究資料として活用している。

Q 上阿久津白木彫刻屋台の保存について地元から要望書が提出されたが、さくら市の対応は。

A 白木彫刻屋台は価値が極めて高く、収納庫設置は保存管理上でも望ましい。今後、上阿久津行政区文化財保存委員会と連携して実現に向けて検討を進めたい。



彫刻屋台



笹沼 昭司 議員
Shoji Sasanuma



YouTube

市内への就職、
定住促進のための
奨学金返還支援について

▶ 制度の制定に向け積極的に進める

Q 企業から日本学生支援機構に直接代理返還が可能となったが、市内企業での活用状況は。

A さくら市内の企業の利用は確認できていない。積極的な周知を行う。

Q さくら市独自の返還支援は。

A 他市の状況を見据え、制度の制定に向け積極的に進める。



ふるさと納税について

Q 国の通知により、経費の総額を寄附金額の5割以下、返礼品は調達費用が寄附金額の3割以下で当該自治体の区域内において、①生産されたもの、②原材料の主要な部分が生産されたもの、③製造・加工の主要な工程を行ったものに限られるなどとされている。その影響と新たな取り組みについては。

A 掲載を取り止めたものもあるが、深刻な影響はない。ポータルサイトの追加や返礼品掲載ページでの自治体PRに努める。

その他の質問

- ◆ICT化とスマートフォン依存症について
- ◆タクシードライバーの不足について

Q さらに寄付金額を伸ばしていく方策は。

A お米のブランド化や全国的に流通する商品を生産する企業と返礼品提供の交渉をしていく。



デジタル田園都市
国家構想交付金事業と
ウェルビーイング指標について

Q デジタル田園都市国家構想の実現に向け、ウェルビーイング指標が示されているが、どう捉えているか。

A ウェルビーイング指標は、市民の暮らしやすさと幸福感を可視化するもので、国においても確立に向けた検討が始まったばかりであり、利用改善の流れを注視しながら事業指標として取り入れられるか見極めを行っていききたい。

Q パッケージ事業などで政策に活かす考えは。

A 積極的な検討を行っていく。



角田 憲治 議員
Kenji Kakuta

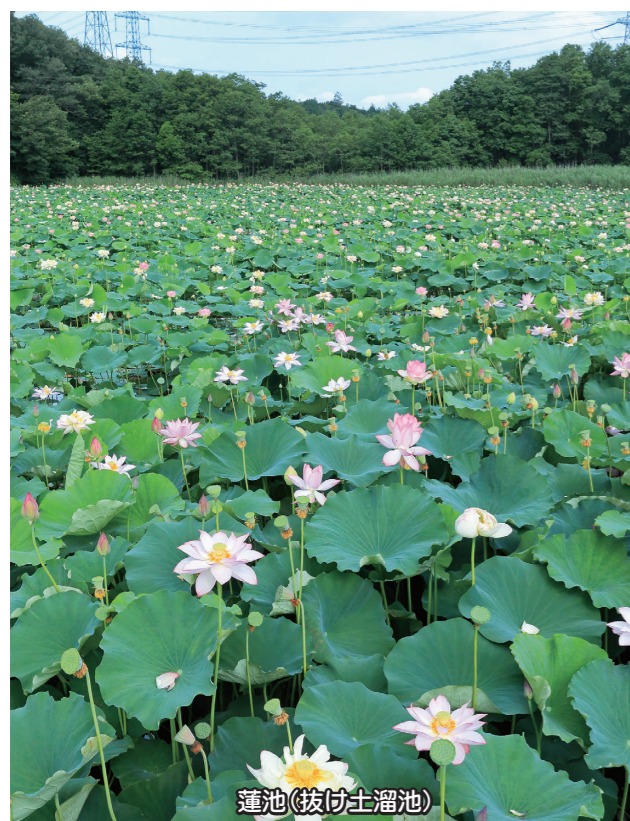


YouTube

11 住み続けられるまちづくりを 市有地“蓮池”(抜け土溜池)の有効活用について

▶ 前向きに検討を進めていく

- Q 下河戸北行政区域内にある市有地“蓮池”を活用し、観光地として利用してはどうか。
- A 進化プランにおいて、交流人口倍増を掲げ、現在観光入込客数について平成28年の71万人から、3倍達成を目指して取り組を進めている。今後合併20周年の記念事業と考え合わせて、現地調査を関係各課で行い、方向性について前向きに検討を進めていく。



蓮池(抜け土溜池)

11 住み続けられるまちづくりを 道普請制度の見直しについて

- Q 道普請制度の導入により、道路及び河川の整備が進んでいる。市長は今、行政区重視を掲げているが、道普請制度の拡充と見直しを図ることが重要であるがどうか。
- A 道普請は、3世帯以上が生活道路として利用する私道または認定外道路を整備する際、限度額70万円(原材料費は50万円、機械借上料は20万円)の材料費等を支給する制度であり、農道や農業用水路を整備する、農道等普請制度も確立されている。改善等を含めた地域が求める道普請制度の見直しを行い、拡充、実施を図るべく、よりよい制度に向け取り組んでいく。



道普請制度(実施前)



道普請制度(実施後)



岡村 浩雅 議員
Hiromasa Okamura



YouTube

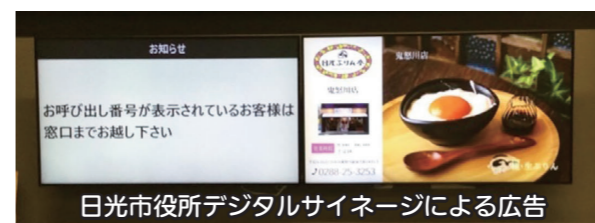
8 働きがいも 暮らしにも 障がい者の雇用について

▶ 自立した生活が送れるよう支援していく

- Q 市役所での障害者法定雇用率達成状況は。
- A 令和5年11月現在2.62%であり、法定雇用率を達成している。
- Q 障害者優先調達推進法における本市の取り組み現状は。
- A 令和2年度157万9,000円、令和3年度315万6,000円、令和4年度165万2,000円であった。今後も積極的に取り組んでいく。
- Q 就労継続支援A型、B型事業所の誘致など、今後の取り組みについて。
- A 就労や利用状況を確認しながら事業所の誘致など働く場所の確保に努めていきたい。

11 住み続けられるまちづくりを 自主財源確保についての取り組み

- Q 今後施設への*ネーミングライツや、市民課窓口に表示している*デジタルサイネージへの広告を導入したらどうか。
- A 広報効果のある施設について検討を行うなど、必要な調査を進めていく。市民課窓口のモニターは、既にシステムの無償提供を受けるための広告掲載を行っている。



日光市役所デジタルサイネージによる広告

- Q 公共施設に設置する飲食物の自動販売機を一般競争入札で実施している自治体があるが、本市でも取り入れてはどうか。
- A 今後、先行して総合公園、ゆうゆうパークなど、都市公園に設置されている自動販売機について導入に向け検討する。

3 持続可能な 社会を創出 子どもの屋内遊び場の設置について

- Q 特に南小学校区の方からは、設置を望む声が多いが、本市としてどのように取り組むのか。
- A 今後、複合的機能を有する公共施設の新設を考えていく際には、継続的に検討していく。南小地区においては、放課後児童クラブの拡充等に併せ、施設の有効活用やそれらの機能の連携、協力体制の構築を含めて再検討をし、子どもの居場所として充実した室内空間が確保できるよう努めていく。



南小学童保育センター

***ネーミングライツ**
施設の名称に企業名や商品名を付与する権利(いわゆる命名権)のことで、ネーミングライツを取得した企業から対価を得て、施設の運営維持と利用者のサービス向上を図るもの。

***デジタルサイネージ**
施設などにディスプレイやプロジェクターなどを設置して、情報を発信するシステム。



加藤 誠一 議員
Seiichi Kato

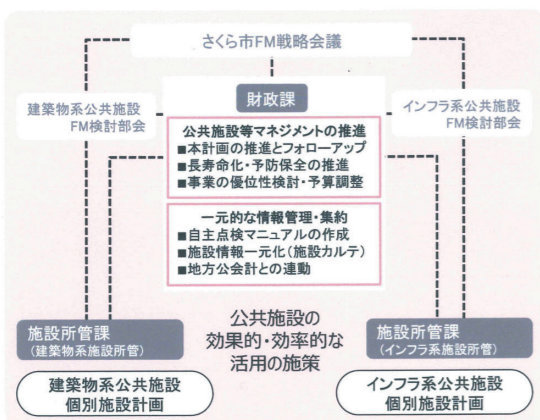


YouTube

11 公共施設等総合管理計画について

▶公共施設管理の在り方は最重要課題と捉えている

- Q 総施設の延べ床面積で10%削減目標の根拠は。
- A 将来における財政規模と人口推計を考慮し、施設総量の延べ床面積から決定した。
- Q 公共施設を維持更新していくには将来平均8億円の財源が不足するとの試算であるが。
- A 施設を現状維持していくには毎年8億円の財源不足が生じてしまうため床面積10%削減を含め、施設の集約化・複合化、施設民営化など多角的な視点で取り組む必要があると考えている。



公共施設等マネジメント推進体制

※公共施設等総合管理計画

長期的視点をもって公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに最適な配置とする計画

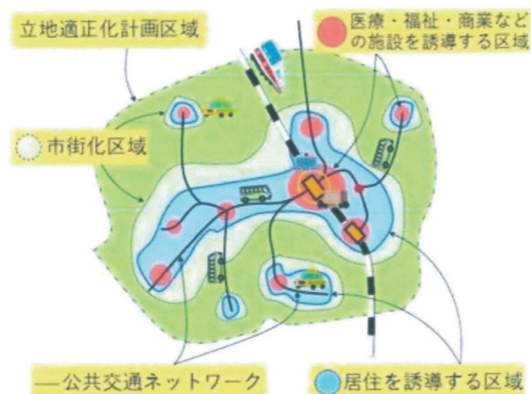
9 さくら市立地適正化計画について

Q 立地適正化計画の意義、目的の認識は。

A 概ね20年後を展望して策定する計画で、人口減少・少子高齢化を見据え、都市機能集約型(コンパクトシティ・プラス・ネットワーク)への転換を図り、将来にわたり住み続けられるまちづくりを目指していきたい。

Q 計画策定に向け、今後の取り組みは。

A 今年度は誘導区域、誘導施設の検討、目標値の設定等素案をまとめ、令和6年度に市民説明会、パブリックコメント等を通じて、市民の皆様の意見を反映して計画書をまとめ、その後国県等と協議を進めていく。



立地適正化計画のイメージ図

※立地適正化計画

少子高齢化、人口減少の社会背景において持続可能なまちづくり施策として、集約型の都市構造、都市機能や居住が集約したコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画



加藤 朋子 議員
Tomoko Kato



YouTube

11 次世代型公共交通構想は

▶可能な限り改善を図り、様々な手法を検討していく

- Q 循環バス導入計画その後は。
- A 法改正により実現困難となり、民間バス事業者への委託も含め、新たな対応方針を検討している。



Q ラストワンマイル・モビリティ(ドア ツードア交通)の充実は。

A 乗り合いタクシーの需要は高いので、充実と進化を図り、利用を呼びかけていく。

Q ライドシェア導入の可能性は。

A 実装には法規等多くの課題があるので、前向きな思考を持って情報の収集に努めていく。

Q 次世代型(*MaaS、自動運転)環境配慮型(EV、FCV)公共交通導入の検討は。

A MaaSに関しては、乗合タクシーにAI予約システムを導入するシミュレーションに取りかかっている。また環境配慮型車両に関しても、当市に研究所のあるホンダが開発したFCV対応SUV車等を積極的に公用車として導入していきたい。

Q スクールバスを空き時間に、循環バスとして多目的利用できないか。

A 登下校の合間に利用できる時間が1時間程度しかないのが難しい。

10 市の施設等使用料について

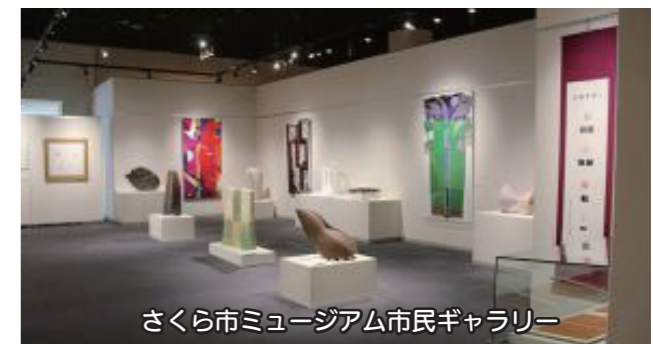
- Q 使用料徴収及び減免、減額の区別と根拠は。
- A 施設で提供する行政サービスの内容、受益者、公益性等を勘案して、各施設の設置条例で定めている。

Q 体育施設を利用する子どもたちへの減免は。

A スポーツ振興課の内規で運用している。

Q 市内施設の使用料を一元的に審査、見直ししては。

A 他市町の例を参考に検討していく。



さくら市ミュージアム市民ギャラリー

※MaaS

複数の移動手段を最適に組み合わせ、検索・予約・決済等を一括で行うサービス